

会 議 録

内 容：平成 26 年度軽井沢町グランドデザイン像作成に伴う会議（第 14 回/全 24 回）

場 所：軽井沢町役場

日 時：平成 26 年 10 月 22 日（金）14 時 00 分～16 時 00 分

出席者：軽井沢町（藤巻町長、企画課（横島参与、依田課長、森室長、遠藤、春原）
中村委員長、udc(小野寺), 小野寺事務所(上條), アトリエ T-plus(南)、今井克己

①「軽井沢グランドデザイン」100 年グランドデザインについてイマイさんより仕上げ箇所について説明。結果下記。

・会議での意見等を反映し、中軽井沢の住宅の屋根は統一した。レンガ色と紺色の 2 色を使用しているが、中軽井沢は和風を意識して紺色を使用している。旧軽井沢から軽井沢駅までは、明るい色が良いとの意見が出ていたので、レンガ色としている。地域毎に明確な分け方をすると、エリア毎で対立している様に見える印象になる気がしたので、中間あたりは 2 色を織り交ぜている。（イマイ氏）

・短冊については、水彩色鉛筆で縁どりと字を描いている。（イマイ氏）

・この絵を見て、子供たちに夢を膨らませてもらいたい。子供たちには絵が全てとなる。子供と絵の関係を解説する事が我々大人の仕事だと思っている。子供たちへのメッセージとして、作者として絵に込めた想いがあれば教えて欲しい。（横島参与）

→昨日、絵を納品した時に、役場の方々が見に来て下さった。絵の前で様々な話をされていた。それは、とても嬉しかった。絵を見る方が絵の前に立って様々な話をしてくれる、そんな絵であればと思っている。（イマイ氏）

→「絵と語ろう」という事ですね。（横島参与）

・特にデザイン上や色彩上等で、心を込めた所、強調した所はどこですか。（横島参与）

→私は、富良野市で半分は農業をやっている。耕作していない畑をパッチワークとして表現した。軽井沢は 100 年後、より東京から近くなると思っている。農業は今でもブームになってきているが、畑を全て活用する形で農業を楽しめる所になればという想いはある。（イマイ氏）

→その事はグランドデザインの思想とも合致している。（横島参与）

・グランドデザインは、今あるものを大事にする思想である。この絵以上のものは開発しないという読み取り方は、作者としての想いとは合わないものか。（横島参与）

→結果的に吉田初三郎の絵よりも、緑があふれる絵となった。軽井沢は、今ある状態でも自然豊かな都会とは違う特殊な町である。そこを大事にする事で、より良い素晴らしい町であり続けるのではないかと思う。（イマイ氏）

・思い通りにいかなかった難しい所はあるか。（横島参与）

→細かい部分はあるが、総合的には良く纏まってくれたと思っている。（イマイ氏）

→吉田初三郎の絵より明るく描けていて良い。カラマツより混合林を多くし、明るくなった印象が良い雰囲気を出している。（中村委員長）

②「軽井沢グランドデザイン」冊子について協議を行った。結果下記。

軽井沢グランドデザイン像 冊子 修正箇所について

【本編】

項目	修正箇所
全体	⇒数字のフォントを変更する。 ⇒「町並み」「街並み」→「まち並み」に統一
<裏表紙>	①ポケット部分の白地 ⇒観光用に描いて頂いたイマイさんの「雲場池」の絵を差し込む
<はじめに・年表>	①年表 ⇒2060年「軽井沢エリアデザイン」の実現、2110年「軽井沢100年グランドデザイン」実現となっているが、あくめでも目標設定であるため、柔らかく実現していく表現とする。 →「実現」の文字、枠を削除する。バックの色は、徐々にグランドデザインが完成していく様な表現とする。グラデーションをかける。 ②はじめに 大見出し ⇒平仮名部をカーニングする。(縮める) ②はじめに 町長サイン ⇒町長の直筆サインを入れる。 ③はじめに 図版文章 ⇒平成25年 → 平成25年度 に変更
<基本理念>	②内容(文章) 「グランドデザインは答えではなく問題提起」 ⇒私達 → 私たち に変更 ③図版 ⇒言葉を修正 NPO連合体 → NPO等との連合 軽井沢モダン研究会 → 軽井沢モダンの研究 まちづくり資料・研究センター → まちづくり資料・研究 風土性スポーツ・健康研究会 → 風土性スポーツ・健康の研究 風土アート研究会 → 風土アートの研究 風土トラスト → 風土型産業の研究 ファミリー支援プラザ → ファミリー支援 ミニ・マルシェ → 生活市場
<軽井沢100年未来デザイン像>	①大見出し ⇒片仮名部をカーニングする。(縮める) ②キャッチコピー ⇒行終わりにくる句読点(、)は取る。 ⇒エクスクラメーションマーク(!)も取る。

<p>＜軽井沢エリア デザイン像＞ 全体</p>	<p>①模型写真にのせている番号 ⇒①、②、③の番号を白抜きに変更</p> <p>②各スケッチのタイトル ⇒「小見出し+空白+番号」とする。 例えば、「ステーションフロントの創出 ①」</p>
<p>旧軽井沢地区</p>	<p>①全体模型写真 ⇒「祝祭プラザ」の名称を追加 ※神社や教会一帯のエリアのことを示すワードなので、フォントを他とは変えて、強調する。</p> <p>②見出し文章 ⇒直行 → 直交 に修正</p> <p>②スケッチ文章 成熟する旧銀座通り① ⇒水路を「復興」→水路を「再生」 に変更 まで「下り」→まで「くだり」 に変更</p>
<p>新軽井沢地区</p>	<p>①全体模型写真 ⇒冊子の模型写真が最新版になっていなかったのを修正 ⇒駅前の緑、公園内の緑を全て同じトーンで強調し、緑地をわかりやすく表現する。</p> <p>②スケッチ見出し 矢ヶ崎公園の改修③ ⇒「生まれ変わる矢ヶ崎公園」に修正</p> <p>③スケッチ 矢ヶ崎公園の改修③ ⇒冊子のスケッチが最新版になっていなかったのを、差し替え(カフェが入っていない)</p>
<p>中軽井沢地区</p>	<p>①スケッチ くっかけテラスを活かしたまちづくり① ⇒信号機を削除する。 くっかけのまち並みの展開② ⇒手前の家がコンクリートの壁に見える。質感がある材質（木造）に修正。 ⇒路肩に自転車レーン(淡いブルー)+自転車に乗っている人を追加 ⇒照明にバナーアーム+花を追加</p>

<p>追分地区</p>	<p>①全体模型写真 ⇒手前の黒い面が目立つ。模型写真を再撮影し、差替え。 全体を俯瞰する写真、冊子としてのインパクトを重視した模型写真とする。</p> <p>②スケッチ見出し 分去れと街道の接続① ⇒「分去れ」にルビ「わかされ」を追加</p> <p>③スケッチ 分去れと街道の接続① ⇒信号機を削除する。</p>
<p>南地区</p>	<p>①全体模型写真 ⇒もみじを強調したものに差し替え ⇒模型写真上の文字を修正 ⇒「ユースゲ」→「ゆうすげ」に修正 ⇒「風越山」を追加 ⇒「発地里山パーク」「風越スポーツパーク」を追加。エリアを指し示すワードなので、フォントを変える。</p> <p>②スケッチ見出し ⇒①「農とスポーツの融合・発地里山パーク」に修正 ⇒③「交流する各種スポーツ」に修正</p> <p>③スケッチ 農とスポーツの融合・発地里山パーク① ⇒紅葉を強調する。</p>
<p>未来交通</p>	<p>①概念図 ⇒エリア範囲は重なる様にする。 ⇒南 → 南地区 に変更 ⇒馬と自転車のピクトグラムを目立たせるため、2 つセットで表現する。</p>
<p>クレジット</p>	<p>①クレジット ⇒「編集・発行」「発行日」はセットで一番下段に移動 ⇒小学生絵画のクレジットは上段に移動 ⇒中学生作文のクレジットは削除 ⇒軽井沢町役場 → 軽井沢町 ⇒「軽井沢 22 世紀のはばたき」頁の図 → 「軽井沢 22 世紀へのはばたき」の絵画</p>

【解説版】	
項目	修正箇所
全体	⇒分去れにはルビを付ける。 ⇒「町並み」「街並み」→「まち並み」に統一
<第1章>	①用語解説 ※国際親善文化観光都市 ⇒昭和26年に軽井沢町のみを対象とした法律「軽井沢国際親善文化観光都市建設法」に定められている。軽井沢町を国際親善に主眼をおいた文化都市であり、かつ観光都市であるように建設することを意味し、文化と観光とが結合している所に自然的景観の美しさのみを誇る観光都市以上に文化的意義の高いものであるべきことが強調されている。 →昭和26年に軽井沢町を単独の対象とした特別法に定められている。自然景観の美しさにとどまらず、国際親善に主眼をおいた文化都市であり、かつ観光都市としての建設を目指している。同様の特別法を持つ京都や奈良などの都市と連携している。
<第4章>	①文章 (3)生活拠点としての中軽井沢の重み ⇒「現在のおよそ1万8千人から」を削除 ⇒1億1千人余り→1億700万人余りに修正
委員長からのメッセージ	①文章 ※森山委員から7頁と17頁に「溺れ」の言葉が2度使用されている事が気になるとの指摘。中村委員長に相談 ⇒文明のあがきに溺れ、萎えた精神 → 文明のあがき果てに萎えた精神に修正

③「軽井沢グランドデザイン」パネルについて協議を行った。結果下記。

◆100年グランドデザインのパネル

- ・1行キャッチコピーは入れず、絵を中心にタイトルと軽井沢町、年月日のみとする。絵と語るのであれば、説明文は必要ない。イマイさんの手書きサインは絵中に入っている。キャッチコピーや作家名等は冊子を改めて見て頂く事とする。

◆エリアデザインのパネル

- ・エリアデザインについては、小さくなくても説明文があった方は親切である。読まれる方は読むので入れる方向とする。

◆小学生用のパネル（全地区を1枚にまとめたパネルを新規で用意する。）

- ・小学生用のパネルは良い。色分け等で地区を表現する。
- ・小学生が見るものなので、小見出しの漢字にはルビを振る。
- ・分かりやすいので、議会での説明でもA3サイズを配布する可能性あり。

○次回の協議について

・次回会議は、町民説明会の協議として、平成26年11月12日（水）とする。

・議題は

- 1) グランドデザイン像冊子
- 2) グランドデザイン像パネル

○配布資料

1. 次第
2. 軽井沢グランドデザイン像冊子（案）
8. 軽井沢グランドデザイン像パネル（案）

以上